Abb. 2

1. 焦 点
2. ゴ ム 風 船
3. 尾 閥 骨
4. フ ィ ル ム

けである。もっと簡単な方法として図のようにゴム管の先にゴム風船をつけそれを直腸に入れてからふくらし腹背に撮影すると腸の重積像もなく骨梁も極めてよく現われる。写真の左は普通の単純撮影で右はこの方法によったものである。

8) B. Rossmann : Einfache röntgenologische Aufnahmetechnik des Säuglingsohres 741-748

乳児耳科領域の簡単なX線撮影法
741~748頁

乳児では耳のX線撮影はあまり行なわれていないが、もし正確に行われるならばこの年齢に多い炎症の場合など大変に役立つであろう。乳児では撮影の場合教科書にあるような頭の位置は大変とりにくいので自然のままの腹臥位の頭の位置を使って撮影を行って好結果を得てい

Abb. 2

Abb. 1

る。姿勢は図に示す通りで腹臥位にねかせた時の姿勢に一寸手をかせばよい。家族の者にでも軽く固定させるだけで麻酔などは必要でない。照射筒は軽く頭をおさえて固定を助ける。左右をかえて1枚のフィルムにとるようにすると容易に対称のものがえられる。